

名大生の PCライフ

大学生になると、授業など様々な場面でPCを使うようになります。ここでは、名大生のPCの使い方を見ていきましょう。

1. 大学生活での使い方

大学では、普段の授業の中でもPCを使う場面が数多くあります。ここでは、主な使い方を紹介します。

☆授業を受ける☆

大学ではPCを使って授業を受けることが多くなります。授業中に小テストを受けたり、資料を確認したりと、PCなしでは受けられないような授業もあります。

☆プレゼン☆

大学生になると授業などでプレゼンテーション(発表)を行う場面が出てきます。1年生では、「基礎セミナー」という授業で発表をすることがあります。ほとんどの場合、発表で使うスライド等の資料はPCを用いて作ります。作成したデータは自分のPC内や、学生に配布されている機構アカウントに紐づけられたクラウド(OneDrive)などに保存し、持参したPCやタブレット端末で発表を行います。オンライン授業では、画面共有機能を利用して行うこともあります。

☆レポート☆

学部・学科や科目によって変わりますが、レポートの多くはPCを用いて作成します。例えば、「〇〇について5,000字程度で述べよ」という課題が与えられた場合、主に文書作成ソフト(Wordなど)を用いてレポートを作成します。また、表計算ソフト(Excelなど)を併用してグラフを作成したり、実験結果を図表でまとめたりする場合があります。レポートは教員の指示により印刷またはメールやTACT(授業の資料閲覧や課題の提出等を行えるシステム)で提出します。

2. 大学内のPC

名大内には学生が自由に使えるPCが多く用意されており、入学後に配布される名古屋大学ID(後述)を使って自由に利用することができます。ほとんどのPCにレポートやプレゼン資料作成に必要なソフト(Word、Excel、PowerPointなど)が完備されています。主に下の施設でPCを使用できるほか、一部の学部棟などにも利用可能なPCが設置されています。

全学教育棟

- ・2階サブラボA,B
- ・CALL1~4教室

中央図書館

- ・2階セミナールームA,B
- ・4階サテライトラボ

※一部変更の可能性あります。各ホームページでご確認ください。

使う機会は少ないけれど
知っておけばいざという時に
役立つかも！



3. 自分のPC・タブレット

前述のように、大学ではPCを持ち歩く場面が多くあります。また24年度入学生の約65%は、iPad等にデジタルペンを使用してノートを取るなどしています。そのため、ノートPCとタブレットの両方を持つことが望ましいです。

新しくPCを買う場合、注意すべきことがあります。それは、名古屋大学の推奨仕様を満たしているかどうかです。学部・学科ごとにも異なりますが、名大では基本要件として、携帯できるノート型PCであること、無線LANへの接続が可能であること、マイク・スピーカー・カメラが利用できること、Microsoft Officeが動作する性能を持つこと、が挙げられています。

また、Word、Excel、PowerPointなどの**Microsoft Officeのソフトウェアは、学生に配布される機構アカウント(後述)で無償で利用することが可能ですので、購入の必要はありません。**

生協で販売されているPCは推奨仕様を満たしておりウイルス対策ソフトと4年間の保証がつきます。迷っている方にはぜひおすすめです。生協では入学時にiPad Airも4年間保証で購入することができます。

よくある質問

Q1. タブレットを買わずにタブレットPCではダメ？

最近、様々なタイプのPCが発売されています。その中にはタブレットの機能をもつPCもあります。しかし、大学生活ではタブレットでノートを取りながらPCで資料を見る、というPCもタブレットも必要な場面が多くあります。タブレットPCを購入したとしても、タブレット端末があった方がより便利です。

Q2. 家族共用じゃダメ？

前述のように、講義内でPCを用いて発表を行った、レポート作成や課題を大学で行う必要があったりする事があるため、自分のPCを持つ事をオススメします。

4. 名古屋大学 ID

名古屋大学では、学生番号とは別に名古屋大学 ID と機構アカウント・機構メールアドレスが全学生に割り当てられます。この章ではこの名古屋大学 ID など大学生活でよく使うものについて説明したいと思います。

名古屋大学 ID

名古屋大学 ID は、今後の大学生活を送るうえで大変重要な ID です。ID 自体は学生証の裏側に記載されているので、万一忘れても大丈夫ですが、パスワードだけは絶対に覚えておきましょう。

この ID を使うことで学内の PC の利用や機構アカウントのセットアップ、学内の無線 LAN の利用、名大ポータル(授業の補講・休講通知の web からの閲覧、履修の確認等)の利用、TACT(授業の資料閲覧や課題の提出等を行えるシステム)の利用ができるようになります。これだけでなく、履修の登録手続きもこの ID を使って行うことになります。

ただし、この ID を受けとった後、行わなければいけないことがあります。ID の配布の際にも案内されますが、情報セキュリティ研修を受けなければなりません。この手順を踏まないと ID が有効とならず、機構アカウントやメール、TACT などの多くの機能を利用できません。ID 配布時の案内をよく聞いて確実に行いましょう。受講は名古屋大学 ID 配布後に web 上で行うことができます。

機構アカウント

機構アカウントは名古屋大学 ID とは別に割り当てられる Microsoft Office365 のアカウントです。このアカウントで Word、PowerPoint、Excel 等の Microsoft の各種サービスを利用できます。その中でも Onedrive は容量が 50GB の大容量となっています。アカウントのアドレスは、△△.〇〇△.〇〇〇〇@s.thers.ac.jp(〇には数字、△には英字)となっています。

また、機構メールアドレスも割り当てられます。アドレスは、△△.△△.△〇@s.mail.nagoya-u.ac.jp(最初の△は姓・名)となっていて、TACT の通知や先生方などのやり取りに用います。

nwnet

大学内では nwnet という無線 LAN(Wi-Fi) が利用可能です。自分のノート PC を大学に持ち込んでインターネットに接続することができます。nwnet に接続する際は名古屋大学 ID を入力する必要があります。学内のネットワークは常に監視されており、利用方法によっては処罰される可能性があるので注意してください。

5. メールの書き方

レポートの提出、欠席の連絡など大学ではメールを使って連絡をとる機会が増えます。普段友人に送るのとは違うメール送付の作法がありますので、以下の例を参照してメールの書き方を確認しておきましょう。

To: yadai@〇〇.nagoya-u.ac.jp

From: meidai.manabu.a3@s.mail.nagoya-u.ac.jp

件名: 水曜 4 限のオフィスアワー訪問について (名大 学)

屋大先生

突然のご連絡失礼いたします。
木曜 4 限の微分積分学 1 を受講しております、
理学部 1 年、学生番号 062100000 の名大 学と申します。

先週 23 日の講義で取り上げられたランダウの記号に関して
質問がございます。
そのため、来週水曜日 4 限のオフィスアワーの時間に
質問に伺いたいのですが、先生のご都合はよろしいでしょうか。

お忙しいところお手数をおかけして恐縮ですが、
よろしく願いいたします。

名大 学 (MEIDAI Manabu)
名古屋大学理学部 1 年
E-mail: meidai.manabu.a3@s.mail.nagoya-u.ac.jp

誰にあてたメールかはっきりさせるため、冒頭に〇〇先生と入れましょう。

迷惑メールと間違われなように具体的な件名を必ず入れます。初めて送る相手の場合は、自分の名前を入れるとより丁寧です。

自分が誰なのか冒頭で学生番号と共に名乗っておきましょう。

適度に改行して読みやすくしましょう。

必ず**署名欄**を作りましょう。所属、名前と連絡先を明記します。署名機能を使うと便利です。

姓は大文字、名前は小文字のアルファベットで表記します。
※姓名を区別するため

使っちゃダメ!!

機種依存文字(ローマ数字、①などの丸付き文字)、半角カナ文字は文字化けすることがあります。また顔文字は目上の人に使うと失礼にあたります。